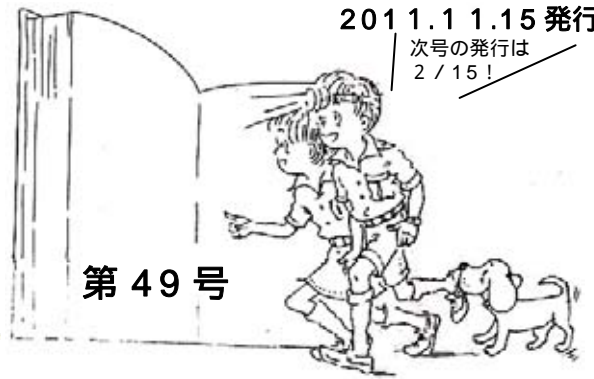


にのみやまちとしょかん 図書館だより

第 49 号



特集

二宮町ふたみ記念館開館

平成 23 年 10 月 29 日、二宮出身の洋画家二見利節^{としえき}の生誕 100 年を記念して、二宮町山西にふたみ記念館がオープンしました。建物は 221.93 m²の平屋建てで、二見利節の作品を約 40 点展示しています。

二見利節（本名：利次）は明治 44 年 10 月 29 日、山西の二見家に 7 人兄弟の次男として生まれました。小田原在住の画家井上三綱に指導を仰ぎ油絵の制作にうちこみ、20 代後半には新文展（現・日展）で「T子」、「横たわる女」で連続特選を果たし、その才能は高く評価されています。東京との行き来の時期はあったものの生涯の大部分を二宮で過ごし、数千点もの作品を遺しました。

芸術の秋。郷土が生んだ異才の洋画家二見利節の作品を、二宮の新名所ふたみ記念館で是非ご鑑賞ください。



県産木材（杉・桧）を使用した柱や梁が印象的な館内。自然光もやさしく降り注ぐ心地よい空間です。



二見利節 略年譜
1911(明44)10月29日、山西(茶屋)に生まれる
1918(大7)父の仕事で横浜へ
1923(大12)関東大震災、父親の死で母と年下の兄弟と共に二宮に帰る
1926(大15)就職のため上京
1931(昭6)二宮に戻る
1932(昭7)井上三綱の弟子となる
「利節」と名乗るようになる
1933(昭8)第11回春陽会展に初入選
1938(昭13)東京杉並にアトリエを借りる
1941(昭16)赤井芳枝と結婚し、二宮に新居を構える
1942(昭17)応召(甲府連隊)に入隊(のち沖繩にて終戦後帰還)
1948(昭23)国画会に入会
1956(昭31)二宮のアトリエが全焼し作品の大半を焼失する
1958(昭33)二宮町公民館の新築記念に作品「花」を寄贈
1959(昭34)妻芳枝と協議離婚
1966(昭41)日動画廊の援助により二階建てのアトリエが造られる
1973(昭48)中近東などを巡る画の旅へ
1974(昭49)小田原市立病院に入院、乳癌と診断される
1976(昭51)3月27日逝去 享年65歳
遺族から二宮町・平塚市へ遺作が寄贈される
1977(昭52)10月平塚市美術館にて「二見利節展」開催



二宮みどり幼稚園のお隣です

二宮町ふたみ記念館

所在地 二宮町山西 1953-1
0463-70-3210
開館時間 10時～16時
(入場は15時30分まで)
休館日 毎週月曜日、祝日の翌日、年末年始
観覧料 500円(中学生以下無料)
駐車場 10台
交通 二宮駅南口から団地中央行きバスで「釜野橋」下車徒歩2分



図書館内 地域展示ケースをご覧ください

図書館では地域資料コーナー展示ケースにて、12月末まで「二宮ゆかりの人物 二見利節」の展示を行っています。記念館からお借りした直筆スケッチブックや作品も展示しています。今まで未公開の資料です。この機会にぜひご覧ください。



直筆スケッチブック
利節はラディアンが建つ前にあった県立園芸試験場に植物デッサンをしに度々訪れていたそうです。

図書館講座でふたみ記念館の見学をします

先着順で申し込み受付中(定員に達した時点で締切)

昨年刊行した『二宮ゆかりの人物ガイドブック』をもとに全2回の図書館講座を行ないます。1回目(11/19)は講義、2回目(11/26)はゆかりの地を巡る文学散歩で、26日にはふたみ記念館も訪れる予定です。

8月～10月の新着本&DVD

2011年8月～2011年10月新着分より
(著編者 / 出版社 / 出版年月 / 請求記号)



『猫を愛する人のための猫絵本ガイド』

(さわださちこ/講談社/'10.5/019.5 ヶ)
猫好きのこどもの本コーディネーターが選んだ猫の絵本 227 冊。美しすぎる猫、いやしてくれる猫、なぞめいた猫……。いろいろな猫たちが登場する珠玉の猫絵本ガイド。読み聞かせおすすめ度や対象年齢表も掲載。

画像
なし

『ひとはどこまで記憶できるのか - すごい記憶の法則 - 』

(田中真知/技術評論社/'11.5/141.3 ヶ)
記憶は、忘れたり間違えたりすることで作られていくという。本書では脳における記憶形成メカニズムや、記憶力増強法など記憶をめぐる幅広いテーマを解説する。

画像
なし

『「あの日」のこと - 東日本大震災 2011・3・11 - 』

(高橋邦典/ポプラ社/'11.6/369.3 ヶ)
仙台市出身の戦場カメラマンが取材した東日本大震災の津波の跡。言葉を失うほど破壊された故郷の姿と、そこで生き抜こうとする人々の写真と言葉の記録。強い絆と復興への思いが伝わる。

画像
なし

『薬局で買える薬がよくわかる本 - OTC薬の賢い選び方・使い方 - 改訂新版』

(佐川賢一・伊東俊雅/法研/'11.5/499.1 ヶ)
2009年の薬事法改正後、より身近になったOTC薬(市販薬)。買う前に知っておきたい基礎知識や、症状別に効く薬を紹介する“薬の情報事典”です。2006年刊の全面改訂版。

画像
なし

『トイカメラ・アナログカメラの本』

(MOSH books/エムディエヌコーポレーション/'11.4/742.5 ト)
ゆるくて味のある写真が魅力のトイカメラやアナログカメラ。その使い方や楽しみ方が満載。手持ちのカメラで一味違った写真を撮るアイデアも紹介。個性的な写真を撮りたい人必見!!

画像
なし

『作家のへその緒』

(池内紀/新潮社/'11.5/910.2 イ)
著者がながらく親しんできた12人の作家、詩人、歌人たち。彼らの作品の誕生を導き出したものとは? 与謝野晶子の髪、宮沢賢治のお経の力、三好達治の軍人の精神など、「創造のへその緒」を探る。

画像
なし

映像 DVD (出演者 / 収録時間 / 請求記号)

『妖怪物語 第1巻』 (水木しげる画/121分/388ヨ1)

水木しげるの描く日本の妖怪原画に市原悦子ほか5人によるナレーションを加えたDVDオリジナル作品。第1巻には、あ〜かで始まる妖怪名の物語234話を収録。

画像
なし

児童書

『土の色って、どんな色?』 (栗田宏一/福音館書店/'11.5/407ク)

土の色 = 茶色、と思うでしょ? でも著者が日本各地で採取した土の色をみてもみると、そのイメージは一変! 丁寧にふるいをかけられた土の色の多彩さにびっくりしますよ。

画像
なし

展示テーブルから

11月の展示テーマ



画像
なし

紹介本
『昔からある日本のすてき』
(クニエダヤスエ/文化出版局/'02.7/LB 594ク)

2011年もあとすこし……。今年は、とにかくいろいろなことがありました。自分が住んでいる日本という国、そして日本人であることを改めて考えさせられました。11月の展示テーブルでは、いつまでも残してしておきたい日本の色々なことに関連する本を集めました。

今回紹介する本は『昔からある日本のすてき』です。今年亡くなった著者のクニエダヤスエは、日本のテーブルコーディネーターの先駆者です。日本に古くからある色づかいや柄には、今でも通用する素敵なものがたくさんあります。そんな失われそうな昔のものを大切に、毎日の暮らしの中で楽しむ工夫の数々が紹介されています。

こどものほんコーナーから

おすすめの一冊



『おくりものは ナンニモナイ』

パトリック・マクドネル
あすなる書房
'05.10
E マク

画像
なし

ムーチが友達のアールにあげたクリスマスプレゼントは、「ナンニモナイ」! 無駄のない絵と文を、時間をかけ、心にしみこませるように楽しみたい本です。幸せや喜びは、もらうことよりも気付くことなのかもしれませんね。

- 1 マスカレード・ホテル / 東野圭吾
- 2 下町ロケット / 池井戸潤
- 3 ジェノサイド / 高野和明
- 4 おまえさん 上・下 / 宮部みゆき
- 5 境遇 / 湊かなえ
- 6 チヨ子 / 宮部みゆき
- 7 真夏の方程式 / 東野圭吾
- 8 密売人 / 佐々木譲
- 9 紅梅 / 津村節子
- 10 謎解きはディナーのあとで / 東川篤哉

二宮町図書館では、町内の学校に通う中学生高校生の職場体験（インターンシップ）町立学校教員の研修の受入れを毎年行なっています。今年 8 月は二宮高校のインターンシップ（3 日間）と二宮中学校の職場体験（1 日）を受入れしました。

体験にあたって、図書館では普段は見ることの出来ない「図書館の裏側」を体験してもらい、図書館の仕組み・司書の様々な仕事を知ってもらえるように、プランを立てています。今年も、図書館とはどういう施設かという講義に始まり、返却された図書を棚に戻す



配架は体力勝負!? 棚のルールを確認して 1 冊ずつ戻していきます



「ブックコートは難しい!」受入作業後 新着図書として書架に並びます

作業（配架）や破損してしまった本の修理、新しく受入する本のブックコート作業、相互貸借のため他図書館へ貸出する図書の準備など、様々な仕事を体験してもらいました。

図書館での体験を将来の進路選択等に活かしてもらえたら……と願っています。

OTC って何の略? ふう〜ん

OTC 薬は over the counter drug の略で薬局のカウンター越しに買える薬のこと。医師の処方箋なしで購入できる一般用医薬品。ちなみに ETC (道路通行料の自動料金収受システム) は Electronic toll collection system の略。

二宮ゆかりの人物

とがし つねじ 富樫 常治 (農事試験場 場長)

ラディアン開館から 11 年が経過し、当地は町民憩いの場として日々にぎわっています。図書館を含むこの場所には以前神奈川県園芸試験場がありました。農業の研究機関がほしいという生産者の要望により、明治 41 (1908) 年に農事試験場として設立された研究施設でした。西湘地域のかんきつ類の改善と発展を望む地域の有志とともに、温暖な恵まれた土地柄である当地への誘致にかかわり設立に貢献した人物が富樫常治です。

富樫常治 (1877~1956) は明治 10 年、山形県飽海郡(現在の酒田市)北平田村曾根田という戸数わずか十余戸の純農村に生まれました。明治 33 年東大農学部卒業後 1 年間志願兵として札幌の連隊に入隊しましたが、除隊後大学の恩師の誘いを受け神奈川県に赴任し、40 数年間県の農業発展に尽力することになります。明治 36 年、結婚後まもなく日露戦争勃発のために召集され、激しい戦争に 2 年間従軍しました。その後無事帰還するとすぐに職場に復帰し、試験場移転準備のために奔走し多忙な毎日を送ります。明治 41 年に神奈川県農事試験場園芸部が二宮に完成し、富樫は初代主任となりました。42 年には家族と共に二宮へ移り住みました。

大正から昭和初期の二宮園芸部では品種改良で大きな成果をあげました。野菜では「相模半白胡瓜」、玉葱の「二宮丸」、果実では梨の「菊水」、桃の「白鳳」と多くの品種改良が富樫を中心にすすめられました。当時の新聞にも「苦心栽培の菊水、二宮場長の成功。第一収穫を宮内省へ献上」と富樫の写真と

共に大きく取り上げられています。これらの種をもとに多くの新種が誕生し、後に梨・桃原木群は県天然記念物に指定され、現在もラディアン裏の果樹公園に保護されています。

昭和 3 年には県下の有志により、富樫に長く二宮の地に住んでもらおうと新築の住宅が贈られました。富樫は椀皮葺の門に「懐徳園」の扁額をかけた、



二宮果樹公園管理棟に掲げられている富樫氏の肖像画(部分)

人々のあたたかい気持ちに感謝の意を表しました。昭和 9 年には場長に任命され、生涯を神奈川県農業発展に尽くした富樫は「園芸の父」といわれました。永年勤続、優良品種の育成、日露戦争の功でそれぞれ表彰もされています。昭和 17 年 9 月に退職しましたが、その後も在郷軍人分会長や民生委員「こゆるぎ会」の結成につとめ、二宮の各方面で奉仕活動を続けました。昭和 31 年 5 月、多くの人達に惜しまれつつ亡くなり二宮妙安寺に葬られました。長男の稔氏も園芸の道へと進み、園芸試験場へも赴任され、親子二代にわたっての試験場勤務に不思議な縁を感じる『神奈川の園芸とともに 87 年』に綴っています。

このコーナーでは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がありましたら、図書館までお寄せください。

お知らせ・お願い

特別館内整理(蔵書点検)が終了しました(9/26~10/3)
 休館中にご不便をおかけしました。ご協力ありがとうございました。

こどものほんコーナーの絵本の入れ替えをしました

おはなしのへや前の別置絵本(いきもの・のりもの・小型絵本)の書架を入れ替えました。

新しい雑誌が入りました(寄贈)

「心理臨床の広場」...年2回刊。(2009年8月号~)

年末年始休館のお知らせ

12月26日(月)~1月5日(木)まで休館いたします。
 休館中の返却ポストへの返却はご遠慮ください。

行事

くわしくはお問い合わせください。





11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

図書館講座文学散歩(19日、26日)

12月 休館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

-  ちいちゃいおはなし会
第2水曜日(1月は第3水曜日)
-  おおきいおはなし会 小学生からおはなし会とありがとうみあそび
第3土曜日
-  わらべうたであそぼう!
第3金曜日
-  図書館託児サービス
第3水曜日(12月は第2水曜日)

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

新しく入った全集



書庫の書架



図書館講座

手づくり布絵本講習会(全2回)

布でできた絵本の作り方の講座です。
 布の持つあたたかさ、子どもとのふれあいに最適です。お子さんやお孫さん用に作ってみませんか。

講師: 吉沼泰子氏(予定)
 (図書館をたのしむ会・手作りグループピノキオ)

開催日: 平成24年2月予定

申し込み方法や日程等の詳細につきましては、お知らせ版、館内掲示等でお知らせいたします。

展示テーマ

9月 一般/『医師が本を書く』
 児童/『秋』
 AV/『コミックソング、ナンセンスソング』

10月 一般/『芸術の秋 美術館はいかが? 祝・二宮町ふたみ記念館開館』
 児童/『秋』[ミニ展示: オバケちゃん]

11月 一般/『のこしたい日本』
 児童/『秋』
 AV/『リスト生誕200年』

特設展示(10~11月)
 『北杜夫さんをしのんで』

児童特設(10~11月)
 『長谷川摂子さんをしのんで』

地域資料展示ケース【二宮ゆかりの人物】

10~12月『二見利節』
 1~3月『園芸試験場』

書庫の本紹介コーナー
 10~12月『SF作家』

ご協力ありがとうございます

図書館基金

10月末までの累計
3,383,704 円

《月別合計》

8月の金額
2,599 円

9月の金額
1,776 円

10月の金額
7,404 円



ひとつだけ ~編集後記にかえて

断捨離、ときめき整理収納法、昨今の片付け本の基本は“捨てること”。部屋や家の片付けはそれでいいけれど、図書館資料は“収集”が基本なのでそうはいかない。しかも常に開架がフレッシュであるには……と、満杯の書庫の前で日々汲々とする開館11周年目。

編集・発行 二宮町図書館

住所 〒259-0123

二宮町二宮1240-10

☎ 0463-72-6913 FAX 0463-72-6914

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>



図書館だよりテープ版もあります。お問い合わせください!

『二宮ゆかりの人物ガイドブック』好評発売中!

